

## 【課題】増加し続ける社会保障費の適正化に関する補足資料

【持続可能な予防型社会構築の必要性】

### ■ 野洲市一般会計予算の推移

全国的な少子高齢化、人口減少社会のなかで、野洲市においても税収の落ち込み、社会保障経費の増加など将来厳しい都市運営が想定されます。下の表のとおり、野洲市の一般会計予算の推移では、歳出総額のうち、社会保障費の根幹となる「扶助費」の割合が、増加していることが確認できます。今後この傾向は全国的にも進んでいくとされており、市としても何らかの対応が必要と考えられます。

※扶助費の定義 扶助費とは、社会保障制度の一環として、生活保護法や児童福祉法、または、老人福祉法など、国の法律に基づいて支出するものと、地方自治体が住民福祉の増進を図るため、独自の施策において支出するものがあり、現金・物品を問わず、被扶助者に対して支給される福祉施策の根幹を成す経費。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳出総額	192億403万円	204億5,008万円	190億2,772万円	237億8,460万円	204億7,382万円
(内扶助費)	32億82万円	31億7,432万円	33億5,844万円	35億4,153万円	37億153万円
(扶助費割合)	16.7%	15.5%	17.6%	14.9%	18.1%

### ■ 社会保障施策に要する経費（社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）、その他）

制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付費並びに少子化に対応するために要する経費に加えた、その他の社会保障給付公費負担について、野洲市の決算額ベースで整理したものが下の表です。一般会計全体の決算額、通年約200億円に対しその4分の1となる、約50億円ほどの公的負担が発生しています。この「社会保障施策に要する経費」は、上段の、「扶助費」と同一内容ではありませんが、性質として同等のものと考えられています。

この経費も、繰り返しになりますが、今後の少子高齢化、人口減少社会のなかで増加継続していくことが見込まれています。

事業名		事業内容	平成28年度 (千円)	前年度対比 (%)
社会福祉	障がい者福祉	障がい者自立支援給付費	981,752	1.14
	高齢者福祉	老人保護措置費	7,581	0.92
	児童福祉	児童手当費、保育所・学童保育所運営費	2,037,176	1.02
	母子父子福祉	児童扶養手当費等	156,123	1.02
	生活保護扶助	生活保護費	394,907	0.95
小計			<b>3,577,539</b>	<b>1.04</b>
社会保険	福祉医療費助成	福祉医療費助成事業費	308,053	0.91
	介護保険	介護保険事業特別会計繰出金、介護予防支援費等	582,583	1.02
	国民健康保険	国民健康保険事業特別会計繰出金	336,068	1.02
小計			<b>1,226,704</b>	<b>0.99</b>
保険衛生	高齢者医療	後期高齢者医療負担金事業、後期高齢者医療特別会計繰出金等	506,788	1.03
	母子保健医療	妊婦健康診査費、未熟児養育医療費給付	41,976	1.08
	健康増進	各種がん検診委託料、生活習慣病予防健診委託料	18,730	0.82
	疾病予防	各種予防接種委託料、結核健康診断委託料	158,190	1.05
小計			<b>725,684</b>	<b>1.03</b>
合計			<b>5,529,927</b>	<b>1.03</b>

## 国民健康保険保健事業実施計画でのデータ分析

市においては、国民健康保険保健法第82条に基づき、野洲市国民健康保険保健事業実施計画を3年ごとに策定し、被保険者の健康増進を図るための保険事業の実施及び評価を行っています。  
そのなかで、診療報酬明細書等（レセプト等）からの情報を活用し、実績値でのデータ分析を行っています。

### ■ 入院と外来の医療費の割合

野洲市国民健康保険保健事業実施計画（平成28年4月）より抜粋

入院の占める割合を見ると、滋賀県や国より少し高い状況です。

【入院と外来の医療費割合】

(単位:%)

	野洲市		滋賀県	国
	金額	割合	割合	割合
入院	14億8,143万円	42.8	41.5	40.3
外来	19億7,989万円	57.2	58.5	59.7

KDB帳票: No.45疾病別医療費分析(生活習慣病)

算出方法: 割合は総点数(入院・外来)に占める割合である。

### ■ 疾病別医療費割合（入院・外来）

野洲市国民健康保険保健事業実施計画（平成28年4月）より抜粋

入院、外来とも「がん」の占める割合が高いですが、滋賀県や国もほぼ同じような状況です。  
生活習慣病の視点から見ると、入院では狭心症、脳梗塞、脳出血、糖尿病の医療費が高く、外来では糖尿病、高血圧症といった疾病の医療費が高い状況です。

【疾病別医療費割合】

(単位:千円、%)

	入院				外来			
	野洲市	滋賀県	国	野洲市	滋賀県	国		
がん	304,262	20.5	19.6	18.3	198,598	10.0	10.3	9.3
狭心症	67,267	4.5	5.2	3.0	32,792	1.6	1.7	1.2
脳梗塞	40,778	2.7	2.8	3.3	13,039	0.6	0.7	0.9
脳出血	23,910	1.6	1.6	1.7	684	0.1	0.1	0.1
糖尿病	21,581	1.5	1.4	1.2	180,948	9.1	8.8	8.3
動脈硬化症	7,035	0.5	0.2	0.2	13,264	0.7	0.3	0.2
高血圧症	5,105	0.3	0.4	0.4	171,655	8.7	9.1	9.3
心筋梗塞	4,802	0.3	1.0	0.8	542	0.1	0.1	0.1
脂質異常症	783	0.1	0.1	0.1	121,441	6.1	5.9	5.1
高尿酸血症	0	0.0	0.1	0.0	877	0.1	0.1	0.1
脂肪肝	0	0.0	0.1	0.1	2,157	0.1	0.1	0.2
精神	141,828	9.6	11.1	15.3	106,788	5.4	4.8	5.7
筋・骨格	116,488	7.9	7.2	7.3	171,200	8.6	9.3	9.2
その他	747,595	50.5	49.2	48.3	965,906	48.8	48.7	50.3
合計	1,481,434	100.0	100.0	100.0	1,979,897	100.0	100.0	100.0

KDB帳票: No.45疾病別医療費分析(生活習慣病)

算出方法: 割合は入院・外来それぞれの医療費に占める疾病の割合である。

### ■ 被保険者1人当たり医療費（入院）

1人当たりの医療費を見ると、狭心症、脳梗塞、脳出血の医療費が高い状況で、なかでも、脳梗塞や脳出血は、滋賀県や国よりも医療費が高くなっています。

【1人当たり医療費】

(単位:円)

	野洲市	滋賀県	国
狭心症	6,045	6,447	3,145
脳梗塞	3,665	3,464	3,526
脳出血	2,149	2,011	1,862

KDB帳票: No.45疾病別医療費分析(生活習慣病)

算出方法: 1人当たり医療費は、レセプト総点数×10÷被保険者数(H27年3月時点)で計算する。

## 高齢者福祉計画・介護保険事業計画での現状分析

市においては、介護保険法に基づき、介護保険事業計画を3年ごとに策定し、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を進めています。そのなかで、今後の介護保険事業の見通しを立てるため、要支援・要介護認定者数、介護サービス利用者数、サービス利用で発生する介護保険給付の公的負担額等状況を分析しています。

### ■ 要支援・要介護認定者の状況

野州市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）より抜粋

要支援・要介護認定者数は、平成25年は1,917人と年々増加しており、ここ5年で400人近く増加しています。介護度別では、要支援1と要介護1の伸びが大きく、県や全国平均の伸びを上回る一方、要支援2や要介護4、要介護5は、県や全国平均の伸びを下回る状況です。

なお、要支援・要介護認定者の介護度の分布については、県や全国平均と大きな差異は見られません。認定率（第1号被保険者数に占める認定者数の割合）は、平成25年は17.1%と上昇傾向となっています。

図表9 要支援・要介護度別認定者数の推移

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	21→25年 増減率	【参考】 21→25年増減率	
							県	全国
要支援1	127	161	158	190	226	78.0%	56.1%	33.8%
要支援2	227	217	199	228	225	-0.9%	29.7%	22.5%
要介護1	263	305	368	367	406	54.4%	27.7%	31.6%
要介護2	292	328	337	385	375	28.4%	22.3%	21.9%
要介護3	217	204	234	222	257	18.4%	13.6%	5.3%
要介護4	220	230	211	220	235	6.8%	11.9%	15.2%
要介護5	178	182	180	201	193	8.4%	9.6%	13.6%
合計	1,524	1,627	1,687	1,813	1,917	25.8%	22.9%	20.8%
認定率(※)	15.6%	16.2%	16.6%	16.9%	17.1%			
第1号被保険者数	9,796	10,055	10,183	10,703	11,238	14.7%	11.5%	9.9%

資料：介護保険事業状況報告（毎年10月末時点）  
※第1号被保険者数に占める認定者数合計の割合

### ■ 要支援・要介護認定者数の推計

野州市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）より抜粋

認定者数は、第6期計画期間中（平成27年度～29年度）に2千人を上回る状況で推移し、認定率は平成29年度に19%を超える状況が見込まれます。

図表25 認定者数の推計

区分	実績			推計				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	平成37年度
要支援1	190	226	260	315	374	440	529	619
要支援2	228	225	213	201	202	214	258	276
小計	418	451	473	516	576	654	787	895
要介護1	367	406	425	455	486	520	596	702
要介護2	385	375	381	384	404	427	507	609
要介護3	222	257	282	313	355	406	496	584
要介護4	220	235	226	213	203	194	213	260
要介護5	201	193	194	187	187	197	233	255
小計	1,395	1,466	1,508	1,552	1,635	1,744	2,045	2,410
合計	1,813	1,917	1,981	2,068	2,211	2,398	2,832	3,305
認定率	16.8%	16.9%	16.8%	17.0%	17.9%	19.1	21.5%	24.8%
第1号被保険者数	10,703	11,238	11,825	12,152	12,352	12,551	13,149	13,314

※実績は、平成24年度・25年度は各年10月末現在介護保険事業状況報告、平成26年度は10月1日現在高齢福祉課資料  
※推計は、国の「介護保険事業計画用ワークシート」に基づく推計

### ■ 介護給付費の推移と見込み

予防給付と介護給付を合わせた給付費の合計は、平成26年度（見込み）で27億8千万円強と年々増加傾向で、平成24年度から3億円超の増加となっており、第5期計画に対する進捗としては94.9%となっています。

図表20 総給付費の推移

区分	実績			第5期計画	平成26年度 進捗率
	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込み)	平成26年度	
給付費合計	2,468,227,339	2,622,275,062	2,784,117,948	2,933,569,000	94.9%

図表95 総給付費の見込み

介護給付及び予防給付	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	平成37年度
総給付費(合計)→(Ⅲ)=(Ⅰ)+(Ⅱ)	3,088,914	3,256,149	3,428,310	4,101,054	4,797,039